

臨床研究に関する情報公開について

研究課題名	栄養素および食品群の摂取量の違いと生活習慣病の発症・進展との関連
研究機関の名称	自治医科大学健診センター
研究責任者の氏名	川畑 奈緒
研究対象	2014年11月から2017年3月まで食事生活相談を受け、かつその後5年以上の期間に渡り1回以上の再受診を行った受診者を対象とします。
研究の背景・意義および目的	<p>【背景・意義】</p> <p>2021年における我が国の平均寿命は男性81.64歳、女性87.74歳であり、健康寿命とはそれぞれ約9年、約12年の差がみられます。国民一人ひとりの生活の質を維持し、社会保障制度を持続可能なものとするためには、平均寿命を上回る健康寿命の延伸を実現することが極めて重要です。健康寿命を縮める原因は様々ですが、その最大のリスクは高血圧、糖尿病、および脂質異常症などの生活習慣病です。生活習慣病は食生活習慣や食事内容と深く関わることから、生活習慣病を予防または改善する食生活習慣や食事内容を明らかにすることは、健康寿命の延伸に役立つと考えます。しかし、食事調査は煩雑なことから詳細な情報を得ることが難しく、特定の栄養素や食品の摂取が生活習慣病へ影響するかを検討した報告はみられますが、種々の栄養素や食品の摂取量を網羅的に調査し、それらの摂取量の違いによる生活習慣病の発症や進展への影響を調べた報告は僅かです。本研究は、種々の栄養素や食品群の摂取量の違いによって、その後の生活習慣病の発症や進展に影響を及ぼすかを明らかにすることで、健康寿命の延伸の一助を担います。</p> <p>【目的】</p> <p>我々は、種々の栄養素や食品群の摂取量を網羅的に調べ、それらの摂取量の違いによって、その後の生活習慣病の発症や進展に影響を及ぼすかを明らかにすることを目的とします。</p>
研究方法	健診センターシステムに登録されているデータのみを用いる後方視的研究です。
研究期間	許可されてから2024年月3月31日まで
研究に利用する情報	受診者さんの健診センターシステムに登録されているデータよ

	<p>り、以下の情報を使用いたします。</p> <p>年齢、性別、血圧、問診結果（薬の使用の有無、既往歴、併存症、喫煙状況、閉経の有無、閉経年齢、出産歴、睡眠時間、睡眠の質、身体活動状況）身体所見（BMI、腹囲）尿データ（尿蛋白、尿糖）血液データ（eGFR、尿酸、HDL コレステロール、non-HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪、HbA1c）身体活動レベルおよび食物摂取頻度調査から算出した栄養素および 17 食品群の摂取量を抽出します。</p> <p>受診者さん、または代理人の方が解析対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者までご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。</p>
<p>研究に関する情報公開の方法</p>	<p>対象となる方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>健診センターシステムから抽出する情報は、個人を特定できないように、研究責任者が氏名等、個人を特定できる情報を新しい符号に置き換えた上で研究に使用します。</p> <p>データは研究責任者が健診センターにおいてパスワードを設定したファイルに記録しUSBメモリなどの電子媒体上に保存し、厳重に保管します。新しい符号と個人を特定する対応表も同様に厳重に保管し、研究終了後、直ちに試料・情報等を破棄・廃棄します。</p> <p>また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。</p>
<p>問い合わせ先および苦情の窓口</p>	<p>【研究責任者】 自治医科大学附属病院 臨床栄養部 主任管理栄養士 川畑 奈緒 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 電話：0285-58-7574</p> <p>【苦情の窓口】 自治医科大学附属病院臨床研究センター管理部 電話：0285-58-8933</p>